

⑥ SNSやその他の手段により、試験の問題・解答などを公開および共有し、またはそのようにして共有された情報を用いて試験に解答すること。

不正行為は、厳重に処分されます。「10.国際学部における不正行為に関する規程」を参照。

2. 履修登録と単位の修得

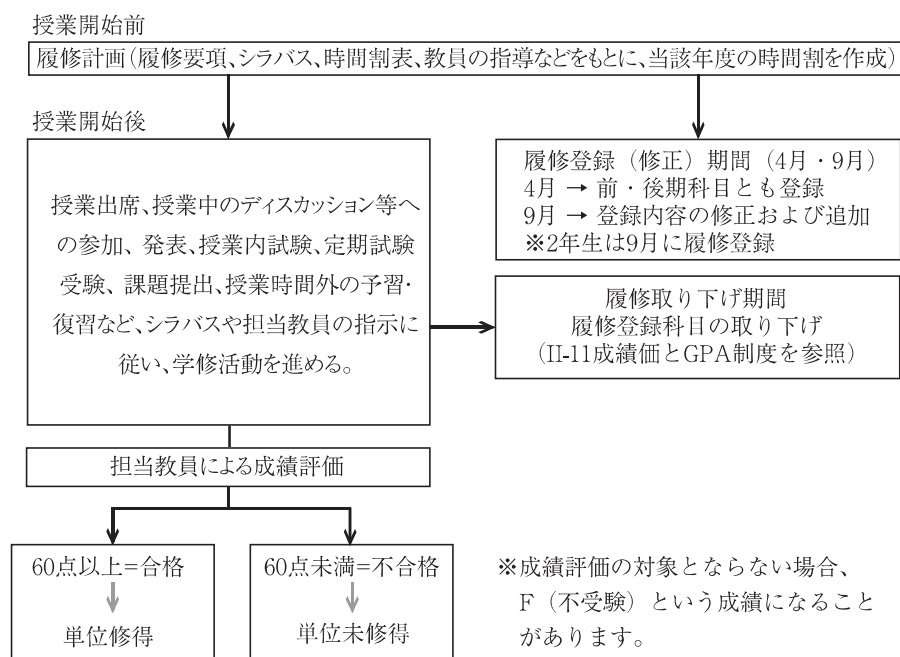
学年配当制

大学の科目は「学年配当制」に基づいています。学年配当制では、当該科目の配当学年より上級の学年生はその科目を履修できますが、下級の学年生は履修できません。たとえば、第2学年に配当されている科目について、第1学年生はこれを履修できませんが、第2・3・4学年生は履修できることになります。

履修登録と履修計画

科目を履修するには、あらかじめ履修登録をすることが必要です。履修登録は、当該学年1年間（前期・後期）の科目を毎年度4月（第2学年生は帰国後）の履修登録期間にUNIPAのWEB履修登録により一括して登録します。また、後期分については、9月の履修登録修正期間に登録・修正することもできます（クラス分けのある必修・抽選科目を除く）。科目によっては、シラバス記載の授業の目的を達成するため、適正なクラスサイズを確保する必要があるため抽選による履修者数の制限を行うことがあります。履修登録期間および方法等の詳細については、別途履修ガイダンスやUNIPA等を通じて説明します。年度始め（第2学年生は帰国後）の履修ガイダンスには必ず出席してください（第4学年は実施しません）。

履修計画から単位修得までの流れ



通常履修・再履修

科目の履修は、当該年度に配当された科目を履修する「通常履修」と、前の学期や年度に単位を修得できなかった科目を再び履修する「再履修」とに分けられます。不合格科目については、その科目が必修科目の場合は再履修する必要がありますが、必修科目でない場合は、必ずしも再び履修する必要はありません。また、すでに単位を修得した科目を再び履修することはできません。

休学と単位修得

休学期間中は、本学の科目を履修し単位を修得することはできません。また、休学期間中に個人的に留学し修得した海外の大学等での単位は本学部では認定されないの注意してください。

ブリレキジット科目

ある科目を履修するために、別の科目の単位をすでに修得済みであることが求められることがあります。このような履修の前提となる科目は「先修科目（ブリレキジット科目）」と呼ばれ、発展的な科目を理解するための前提となる基礎的な内容を扱う科目が指定されます。第3・4学年で履修するグローバル専攻専門発展科目の「特論科目」には、先修科目が指定されていることがあります。第2学年の段階で、翌年度以降に履修したい専門発展科目の特論科目に先修科目が設定されているかを確認し、計画的に履修してください。先修科目は履修ガイダンスや、（令和6年度以降は）シラバスなどで周知されます。

VI 授業科目と履修方法

1. 全学共通科目（共通教養科目・外国語科目）：卒業・履修要件と授業科目表

卒業・履修要件：共通教養科目および外国語科目

科目区分			修得すべき単位数	
全学共通科目	共通教養科目	人間性・社会性科目群	* スポーツ・表現活動科目群と合わせて、4単位以上	26単位以上
		地域性・国際性科目群	2単位以上	
		課題設定・問題解決科目群	4単位以上 * 必修科目「基礎ゼミ」と「ICTリタラシー1」を含む	
		スポーツ・表現活動科目群	* 人間性・社会性科目群と合わせて、4単位以上	
	外国語科目			

授業科目表：共通教養科目

科目区分			授業科目の名称	単位数	配当学年
全学共通科目	共通教養科目	人間性・社会性科目群	暮らしのなかの憲法	2	1
			哲学と人間・社会	2	1
			現代社会と倫理	2	1
			人権と社会 1	2	1
			人権と社会 2	2	2
			心理と行動	2	2
			現代の社会論	2	2
			芸術鑑賞入門	2	2
			住みよい社会と福祉	2	2
			現代社会と法	2	2
			現代社会と政治	2	2
			現代経済の課題	2	2
			教養特殊講義 A	2	1
		地域性・国際性科目群	日本近現代史	2	1
			世界近現代史	2	1
			地域と環境の地理学	2	1
			国際文化研究 1	2	2
			国際文化研究 2	2	2
			教養特殊講義 B	2	1
		課題設定・問題解決科目群	基礎ゼミ（必修科目）	2	1
			ICTリタラシー 1（必修科目）	2	1
			日本語の技法	2	1
			キャリアデザイン 1	2	2
			キャリアデザイン 2	2	3
			ICTリタラシー 2	2	2
			生命の科学	2	2
			環境科学	2	2
			思考の技術	2	1
			基礎数学 1	2	3 2
			基礎数学 2	2	3
			教養特殊講義 C	2	1
			データリテラシー入門	2	1
		スポーツ・表現活動科目群	生涯スポーツ 1	1	1
			生涯スポーツ 2	1	2
			健康とスポーツの科学	2	2

る必要がありますが、できるだけこの学期に修得し、第3学年以降にどの「領域」を希望するかを検討してください。

2. この学期に、第3学年以降に所属する「セミナー（ゼミ）」の選考があります。指示に従って申請してください。申請がない場合は3年生になっても「セミナー1」と「セミナー2」を履修できず、改めて第3学年後期にゼミ選考に参加しなければなりません。
3. この学期の後半には、第3学年以降に所属する「領域」の選考があります。指示に従って申請してください。申請がない場合は、希望に関わらず定員を満たしていない領域に振り分けられます。
4. 共通教養科目と外国語科目（第二外国語）の履修が始まります。
 - ・「キャリアデザイン1」は、就職活動の準備のための科目です。卒業後に就職を目指す人は履修することを強く推奨します。
 - ・「ICTリタラシー2」は、社会で必要とされるソフトウェアのやや高度な運用技術を修得するための科目です。各自の必要性に応じて履修を決めてください。
 - ・教職課程を履修している人は、「生涯スポーツ2」が教職課程の必修科目ですので、今学期に履修することを強く推奨します。・「基礎数学1」は、企業の採用選考で課される数学的な能力を問うテストです。各自の必要性に応じて履修を決めてください。
 - ・外国語科目は選択科目ですから履修しなくても卒業要件を満たすことができます。英語以外の外国語を習得することは将来の進路選択にも役立ちますので、各自の希望進路や学修目標に照らして履修するかどうかを決めてください。外国語科目を履修する場合、1言語を選択し、この学期から入門、基礎、中級、上級の順に履修しなければなりません。外国語科目は抽選科目ですから、希望通り履修できないこともあります。履修の方法は、VI-Iの外国語科目の授業科目表の下にある「外国語科目履修上の注意」を参照してください。
5. 学部共通開講科目については下記を参考にして履修してください。
 - ・日本語教員養成課程の修了を目指す人は「日本語学」を履修してください。
 - ・3年次以降に交換留学・派遣留学を目指す人はIELTSのスコアが求められる場合が多いため、今学期に「IETLS」を受講して受験に備えることを推奨します。
 - ・「インターンシップ」と「体験プログラム」については、説明会がありますから参加してください。参加するインターンシップや体験プログラムによって時期が異なります。
6. 言語科目では、必修科目の「キャリア英語1」と「ディスカッション」を指定されたクラスで履修してください。また、選択科目の「English for Specific Purposes 1A～C」は、特定の分野で使われる英語を学ぶ科目です。希望に応じて履修してください。ESP科目は抽選科目です。
7. 教職課程を履修している人にとっては、この学期での履修が非常に重要になります。
 - ・教職教育部の履修要項に従って国際学部および教職教育部で開講される必要な科目をできるだけ多く履修してください。「コミュニケーション学」（国際学部の専門基礎科目）を修得することは重要です。
 - ・また、第2学年から新たに教職課程を開始することも不可能ではありませんが、卒業までに修了するのは科目履修の負担が非常に大きくなることに注意してください。教職課程を開始したい人は教職ガイダンスを必ず受講してください。

【第3・4学年の学修】

専門分野の知識を深め、アカデミックな知識を深め、体験を積みます。卒業に必要な単位を揃えられるように、履修登録には細心の注意を払ってください。進路選択についても考えて行動してください。教職課程を履修している人は引き続き必要な科目を履修してください。

1. 共通教養科目・外国語科目は、引き続き必要な科目を履修してください。下記に注意してください。
 - ・外国語科目は合格すれば上のレベルの科目に自動的に履修登録されます。途中で辞退することはできませんから注意してください。
 - ・前期の「キャリアデザイン2」は就職活動をめざした実践的な内容になります。履修を強く推奨します。
 - ・前期の「基礎数学1」と後期の「基礎数学2」は、企業の採用選考で課される数学的な能力を問うテス

・「基礎数学1」は、企業の採用選考で課する数学的な能力を問うテストの対策講座です。数学が苦手な人は履修することを強く推奨します。

です。各自の必要性に応じて履修を決めてください。

- ・外国語科目は選択科目ですから履修しなくても卒業要件を満たすことができます。中国語以外の外国語を習得することは将来の進路選択にも役立ちますので、各自の希望進路や学修目標に照らして履修するかどうかを決めてください。外国語科目の中には東アジア専攻の学生用に英語も設けられています。特に英語は活用できる幅が広いので、履修することを強く推奨します。外国語科目を履修する場合、1言語を選択し、この学期から入門、基礎、中級、上級（「総合英語1～4」）の順に履修しなければなりません。外国語科目は抽選科目ですから、希望通り履修できないこともあります。履修の方法は、VI-Iの外国語科目の授業科目表の下にある「外国語科目履修上の注意」を参照してください。
2. 学部共通開講科目については下記を参考にして履修してください。
 - ・必修科目の「専門導入セミナー」を履修し、第3学年以降の「セミナー」に備えます。この科目の中で各自の研究テーマを考え、学期末に研究計画書を提出し、それに基づいて第3学年以降に所属する「セミナー（ゼミ）」が決定されます。この科目を履修しない場合は所属が決まらず、3年生になっても「セミナー1」と「セミナー2」を履修できません。
 - ・日本語教員養成課程の修了を目指す人は「日本語学」を履修してください。
 - ・「インターンシップ」と「体験プログラム」については、説明会がありますから参加してください。参加するインターンシップや体験プログラムによって時期が異なります。
 3. 言語科目では、必修科目の「中国語文法（上級）」、「中国語会話（上級）」、「中国語検定試験演習1」を指定されたクラスで履修してください。卒業までに18単位以上修得する必要がありますから、選択科目の「中国語表現技法1」「ビジネス中国語1」なども計画的に履修してください。
 4. 専門発展科目は、必修科目の「中国学研究法」に加えて、歴史・言語・文化などの様々な科目を選択できます。卒業までに中国語コース専門発展科目の中から18単位以上修得する必要がありますから、各自の興味関心に応じて計画的に履修してください。また卒業要件の18単位を超える分については、グローバル専攻の専門基礎科目・専門発展科目を16単位まで履修することもできます。この学期には2年次に配当される専門基礎科目を履修できます。
 5. 後期に学部主催のTOEICテストを実施しますから、必ず受検してください。また、専修言語の検定試験も積極的に受験してください。

【第3・4学年の学修】

専門分野の知識を深め、アカデミックな知識を深め、体験を積みめます。卒業に必要な単位を揃えられるように、履修登録には細心の注意を払ってください。進路選択についても考えて行動してください。

1. 共通教養科目・外国語科目は、引き続き必要な科目を履修してください。下記に注意してください。
 - ・外国語科目は合格すれば上のレベルの科目に自動的に履修登録されます。途中で辞退することはできませんから注意してください。
 - ・前期の「キャリアデザイン2」は就職活動をめざした実践的な内容になります。履修を強く推奨します。
 - ・前期の「~~基礎数学1~~」と後期の「基礎数学2」は、企業の採用選考で課される数学的な能力を問うテストの対策講座です。数学が苦手な人は履修することを強く推奨します。
2. 学部共通開講科目では下記を参考にして履修してください。
 - ・日本語教員養成課程の修了を目指す人は「日本語教授法1」、「日本語教授法2」、「日本語教育実習」は必修科目ですから履修してください。日本語についてさらに知識を深めるために「日本語音声学」と「日本語史論」の履修も検討してください。
3. 言語科目では、必修科目として前期に「中国語演習1」、「中国語プレゼンテーション1」があり、後期に「中国語演習2」、「中国語プレゼンテーション2」、「中国語検定試験演習2」があります。指定されたクラスで履修してください。その他の選択科目も計画的に履修してください。
4. 専門発展科目は、引き続き各自の興味関心に応じて計画的に履修してください。コースの専門発展科目から18単位以上修得するよう注意してください。3年次以降は、グローバル専攻の専門基礎科目に加えて、

・「基礎数学1」は、企業の採用選考で課する数学的な能力を問うテストの対策講座です。数学が苦手な人は履修することを強く推奨します。

【第2学年後期の学修】

この学期は、必要な科目を履修しつつ、3年次からの専門的な学修の準備をしていきます。

1. 共通教養科目と外国語科目（第二外国語）の履修が始まります。
 - ・「キャリアデザイン1」は、就職活動の準備のための科目です。卒業後に就職を目指す人は履修することを強く推奨します。
 - ・「ICTリタラシー2」は、社会で必要とされるソフトウェアのやや高度な運用技術を修得するための科目です。各自の必要性に応じて履修を決めてください。
 - ・外国語科目は選択科目ですから履修しなくても卒業要件を満たすことができます。韓国語以外の外国語を習得することは将来の進路選択にも役立ちますので、各自の希望進路や学修目標に照らして履修するかどうかを決めてください。外国語科目の中には東アジア専攻の学生用に英語も設けられています。特に英語は活用できる幅が広いので、履修することを強く推奨します。外国語科目を履修する場合、1言語を選択し、この学期から入門、基礎、中級、上級（「総合英語1～4」）の順に履修しなければなりません。外国語科目は抽選科目ですから、希望通り履修できないこともあります。履修の方法は、VI-Iの外国語科目の授業科目表の下にある「外国語科目履修上の注意」を参照してください。
2. 学部共通開講科目については下記を参考にして履修してください。
 - ・必修科目の「専門導入セミナー」を履修し、第3学年以降の「セミナー」に備えます。この科目の中で各人の研究テーマを考え、学期末に研究計画書を提出し、それに基づいて第3学年以降に所属する「セミナー（ゼミ）」が決定されます。この科目を履修しない場合は所属が決まらず、3年生になっても「セミナー1」と「セミナー2」を履修できません。
 - ・日本語教員養成課程の修了を目指す人は「日本語学」を履修してください。
 - ・「インターンシップ」と「体験プログラム」については、説明会がありますから参加してください。参加するインターンシップや体験プログラムによって時期が異なります。
3. 言語科目では、必修科目の「韓国語文法（上級）」、「韓国語会話（上級）」、「韓国語検定試験演習1」を指定されたクラスで履修してください。卒業までに18単位以上修得する必要がありますから、選択科目の「韓国語表現技法1」「ビジネス韓国語1」なども計画的に履修してください。
4. 専門発展科目は、必修科目の「現代韓国の理解」に加えて、歴史・言語・文化などの様々な科目を選択できます。卒業までに韓国語コース専門発展科目の中から18単位以上修得する必要がありますから、各自の興味関心に応じて計画的に履修してください。また卒業要件の18単位を超える分については、グローバル専攻の専門基礎科目・専門発展科目を16単位まで履修することもできます。この学期には2年次に配当される専門基礎科目を履修できます。
5. 後期に学部主催のTOEICテストを実施しますから、必ず受検してください。また、専修言語の検定試験も積極的に受検してください。

【第3・4学年の学修】

専門分野の知識を深め、アカデミックな知識を深め、体験を積みます。卒業に必要な単位を揃えられるように、履修登録には細心の注意を払ってください。進路選択についても考えて行動してください。

1. 共通教養科目・外国語科目は、引き続き必要な科目を履修してください。下記に注意してください。
 - ・外国語科目は合格すれば上のレベルの科目に自動的に履修登録されます。途中で辞退することはできませんから注意してください。
 - ・前期の「キャリアデザイン2」は就職活動をめざした実践的な内容になります。履修を強く推奨します。
 - ・前期の「基礎数学1」と後期の「基礎数学2」は、企業の採用選考で課される数学的な能力を問うテストの対策講座です。数学が苦手な人は履修することを強く推奨します。
2. 学部共通開講科目では下記を参考にして履修してください。
 - ・日本語教員養成課程の修了を目指す人は「日本語教授法1」、「日本語教授法2」、「日本語教育実習」は必修科目ですから履修してください。日本語についてさらに知識を深めるために「日本語音声学」と「日

4. カリキュラム表

この表は4年間の学修の流れの全体像を分かりやすく理解するためのものです。実際に履修科目を決める際は各科目区分の「授業科目表」で確認してください。

1年次～													2年次～												
金 学 共 通 科 目	共通教養科目	暮らしのなかの憲法	2	選									人権と社会 2	2	選										
		哲学と人間・社会	2	選									心理と行動	2	選										
		現代社会と倫理	2	選									現代の社会論	2	選										
		人権と社会 1	2	選								芸術鑑賞入門	2	選											
		教養特殊講義A	2	選								住まい・社会と福祉	2	選											
		日本近現代史	2	選								現代社会と法	2	選											
		世界近現代史	2	選								現代社会と政治	2	選											
		地域と環境の地理学	2	選								現代経済学の課題	2	選											
		教養特殊講義B	2	選								国際文化研究 1	2	選											
		ICTリタラシー 1	2	必								国際文化研究 2	2	選											
外 国 語 科 目	外国語科目	基礎ゼミ	2	必									キャリアデザイン 1	2	選										
		日本語の技法	2	選								ICTリタラシー 2	2	選											
		思考の技術	2	選								生命の科学	2	選											
		教養特殊講義 C	2	選								環境科学	2	選											
		生涯スポーツ 1	1	選								生涯スポーツ 2	1	選											
		データリテラシー入門	2	選								健康とスポーツの科学	2	選											
												TOEIC	2	選	フランス語入門 A・B	各1	選								
														スペイン語入門 A・B	各1	選									
														ドイツ語入門 A・B	各1	選									
														韓国語入門 A・B	各1	選									
学 部 共 通 開 講 科 目	学部共通開講科目	留学セミナー	2	必								専門導入セミナー	2	必	IELTS	1	選								
		異文化理解	2	必										体験プログラム A	2	選									
セミナー科目																体験プログラム B	2	選							
グ ロ ー バ ル 専 攻	言語科目 留学科目(※)	文法とスピーキング	3	必	※ランゲージスキル 1・2	各2	選	※ランゲージスキル 3・4	各2	選			キャリア英語1	1	必										
		ポキッパラー	2	必	※ストラクチャー 1・2	各2	選	※ストラクチャー 3・4	各2	選			ディスカッション	1	選										
		リーディング・ライティング	3	必	※リーディング 1・2	各2	選	※リーディング 3・4	各2	選			English for Specific Purposes 1A	1	選										
		コンピュータ応用学習	1	必	※ライティング 1・2	各2	選	※ライティング 3・4	各2	選			English for Specific Purposes 1B	1	選										
													English for Specific Purposes 1C	1	選										
専 門 科 目	専門基礎科目 専門発展科目												専門基礎科目												
東 ア ジ ア 専 攻 中 国 語 コ ー ス	言語科目 留学科目(※)	中国語文法(入門) 1	1	必	※中国語文法(初級) 1	2	選	※中国語文法(中級) 1	2	選			中国語文法(上級)	1	必										
		中国語文法(入門) 2	1	必	※中国語文法(初級) 2	2	選	※中国語文法(中級) 2	2	選			中国語会話(上級)	1	必										
		中国語文法(入門) 3	1	必	※中国語文法(初級) 3	2	選	※中国語文法(中級) 3	2	選			中国語検定試験演習 1	1	必										
		中国語会話(入門) 1	1	必	※中国語会話(初級) 1	2	選	※中国語会話(中級) 1	2	選			中国語表現技法 1	1	選										
		中国語会話(入門) 2	1	必	※中国語会話(初級) 2	2	選	※中国語会話(中級) 2	2	選			ビジネス中国語 1	1	選										
		中国語表現 1	1	必	※中国語会話(初級) 3	2	選	※中国語会話(中級) 3	2	選															
		中国語表現 2	1	必	※中国語作文(初級) 1	1	選	※中国語作文(中級) 1	1	選															
		英会話	1	必	※中国語作文(初級) 2	1	選	※中国語作文(中級) 2	1	選															
					※中国語作文(初級) 3	1	選	※中国語作文(中級) 3	1	選															
					※English Grammar A	1	選	※English Grammar B	1	選															
東 ア ジ ア 専 攻 韓 国 語 コ ー ス	言語科目 留学科目(※)				※English Conversation A	1	選	※English Conversation B	1	選			専門発展科目(2年次～)												
東 ア ジ ア 専 攻 韓 国 語 コ ー ス	言語科目 留学科目(※)	韓国語文法(入門) 1	1	必	※韓国語文法(初級) 1	2	選	※韓国語文法(中級) 1	2	選			韓国語文法(上級)	1	必										
		韓国語文法(入門) 2	1	必	※韓国語文法(初級) 2	2	選	※韓国語文法(中級) 2	2	選			韓国語会話(上級)	1	必										
		韓国語文法(入門) 3	1	必	※韓国語文法(初級) 3	2	選	※韓国語文法(中級) 3	2	選			韓国語検定試験演習 1	1	必										
		韓国語会話(入門) 1	1	必	※韓国語会話(初級) 1	2	選	※韓国語会話(中級) 1	2	選			韓国語表現技法 1	1	選										
		韓国語会話(入門) 2	1	必	※韓国語会話(初級) 2	2	選	※韓国語会話(中級) 2	2	選			ビジネス韓国語 1	1	選										
		韓国語表現 1	1	必	※韓国語会話(初級) 3	2	選	※韓国語会話(中級) 3	2	選															
		韓国語表現 2	1	必	※韓国語作文(初級) 1	1	選	※韓国語作文(中級) 1	1	選															
		英会話	1	必	※韓国語作文(初級) 2	1	選	※韓国語作文(中級) 2	1	選															
					※韓国語作文(初級) 3	1	選	※韓国語作文(中級) 3	1	選															
					※English Grammar A	1	選	※English Grammar B	1	選															
専 門 発 展 科 目	専門発展科目				※English Conversation A	1	選	※English Conversation B	1	選			専門発展科目(2年次～)												

		3年次～						4年次～						卒業要件		
全学共通科目	共通教養科目	キャリアデザイン2 基礎数学+2	2 2	選 選	基礎数学2		2 2	選 選							各科目群の修得す べき単位数を含み 10単位以上	必修科目を含み26 単位以上
	外国語科目	フランス語基礎 A・B スペイン語基礎 A・B ドイツ語基礎 A・B 韓国語基礎 A・B 中国語基礎 A・B タイ語基礎 A・B ベトナム語基礎 A・B 総合英語 2A・B	各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1	選 選 選 選 選 選 選 選	フランス語中級 A・B スペイン語中級 A・B ドイツ語中級 A・B 韓国語中級 A・B 中国語中級 A・B タイ語中級 A・B ベトナム語中級 A・B 総合英語 3A・B	各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1	選 選 選 選 選 選 選 選	フランス語上級 A・B スペイン語上級 A・B ドイツ語上級 A・B 韓国語上級 A・B 中国語上級 A・B タイ語上級 A・B ベトナム語上級 A・B 総合英語 4A・B	各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1	選 選 選 選 選 選 選 選						
	学部共通開講科目	日本語教授法1 ビジネスライティング 英米文学研究	2 1 2	選 選 選	日本語教授法2 日本語教育実習 英米文学史	2 2 2	選 選 選								必修科目を含み6 単位以上	
	セミナー科目	セミナー1	2	必	セミナー2	2	必	セミナー3	2	必	セミナー4	2	必	8単位		
専門科目	言語科目 留学科目(※)	キャリア英語2 ディベート English for Specific Purposes 2A English for Specific Purposes 2B English for Specific Purposes 2C	1 1 1 1 1	必 必 選 選 選	プレゼンテーションスキル上級 交渉のスキル English for Specific Purposes 3A English for Specific Purposes 3B English for Specific Purposes 3C	1 1 1 1 1	選 選 選 選 選								言語科目は必修科 目を含み13単位以 上、留学科目は2単 位以上	
	グローバル専攻 専門基礎科目 専門発展科目	専門発展科目(3年次～4年次) ※開講学期は各年度の時間割表を参照のこと(ただしThesis Writingは4年次の通年科目として開講)														
		コミ ュ ニ ティ ・ 実 践	グローバル化と日本 第二言語習得論 多様性と世界を理解する視点 多文化共生社会と言語 言語と権力 現代日本の文化的多様性	2 2 2 2 2 2	選 選 選 選 選 選	グローバリ化と文化接触 国際経済と金融 国際ビジネスと貿易 企業社会とコミュニケーション グローバル時代の日本企業 ESL言語学	2 2 2 2 2 2	選 選 選 選 選 選	早期英語教育論 通訳概論 旅行ビジネス英語 観光英語 大阪の課題と行政の取り組み 文化解析法特論	2 2 2 2 2 2	選 選 選 選 選 選	模擬国連 英語同時通訳演習 英語逐次通訳演習 英日翻訳演習 観光学特論	2 2 2 2 2 2	選 選 選 選 選 選	100単位以上	
		言 語 文 化	英語の歴史 対人コミュニケーション論 異文化コミュニケーション論 応用言語学 言語と社会	2 2 2 2 2	選 選 選 選 選	認知言語学 言語としての英語 言語の構造と意味 言語使用の原理 対照言語学	2 2 2 2 2	選 選 選 選 選	会話と談話の原理 非言語コミュニケーション論 わが社会とコミュニケーション コミュニケーションの事例研究 英語の音声と発音	2 2 2 2 2	選 選 選 選 選	日本語の構造 日英翻訳演習 言語構造特論 言語文化特論	2 2 2 2	選 選 選 選	専門基礎科目は8 単位以上、専門発 展科目は所属する 領域から8単位以 上を含み、20単位 以上	
		国 際 関 係	中南米の現代社会事情 中南米の文化と歴史 韓国の政治と経済 中東とアフリカの現代社会事情 中東とアフリカの文化と歴史 北アフリカの現代社会事情	2 2 2 2 2 2	選 選 選 選 選 選	北アメリカの文化と歴史 東南アジア諸国連合(ASEAN)と日本 アジアの近現代史と日本 ジャーナリズム特論 国際協力・開発論 ボランティア論	2 2 2 2 2 2	選 選 選 選 選 選	NPO・NGO論 国際組織論 国際人権法 東南アジア政治と経済特論 オセアニアの文化と歴史 中国の政治と経済	2 2 2 2 2 2	選 選 選 選 選 選	グローバル政治経済特論 平和構築特論 冷戦史特論 国際法特論 オセアニアの現代社会事情	2 2 2 2 2	選 選 選 選 選		
		人 文 社 会	東アジア文学 日本文学を読む 世界の宗教 南アジア地域研究 アジア社会論	2 2 2 2 2	選 選 選 選 選	近代ヨーロッパ文化論 現代ヨーロッパ文化論 文化遺産学 アジア文化芸術論 グローバル化した世界の民族問題	2 2 2 2 2	選 選 選 選 選	社会史 比較文化論 東アジアの中の日本 アフロ・ユーラシア史 日本文学特論	2 2 2 2 2	選 選 選 選 選	移民研究特論 人類史特論 社会史特論 ダイアコミュニケーション研究特論	2 2 2 2	選 選 選 選		
		共 通										Thesis Writing	2	選		
東アジア専攻中国語コース	言語科目 留学科目(※)	中国語プレゼンテーション1 中国語演習1 中国語表現技法2 ビジネス中国語2	1 1 1 1	必 必 選 選	中国語プレゼンテーション2 中国語演習2 中国語検定試験演習2	1 1 1	必 必 必								言語科目は必修科 目を含み18単位以 上、留学科目は2単 位以上	
	専門発展科目	専門発展科目 ※グローバル専攻の科目を除き、前期に開講する(ただしThesis Writingは4年次の通年科目として開講)														
		中国近現代史2 中国現代文化2 日中比較文化2 中国語学2 中国近現代文学2 日中翻訳2	2 2 2 2 2 2	選 選 選 選 選 選	※2年次後期以降はグローバル専攻の専門基礎・発展科目も履修可					Thesis Writing	2	選	必修科目を含み18 単位以上 ※グローバル専攻の専門基礎・発展科目は16単位を上限として含むことができる	※グローバル専攻の専門基礎・発展科目は16単位を上限として含むことができる		
東アジア専攻韓国語コース	言語科目 留学科目(※)	韓国語プレゼンテーション1 韓国語演習1 韓国語表現技法2 ビジネス韓国語2	1 1 1 1	必 必 選 選	韓国語プレゼンテーション2 韓国語演習2 韓国語検定試験演習2	1 1 1	必 必 必								言語科目は必修科 目を含み18単位以 上、留学科目は2単 位以上	
	専門発展科目	専門発展科目 ※グローバル専攻の科目を除き、前期に開講する(ただしThesis Writingは4年次の通年科目として開講)														
		韓国近現代史2 韓国学概論2 日韓文献翻訳2 日韓比較研究2 異言語と文化2 日韓映像翻訳2	2 2 2 2 2 2	選 選 選 選 選 選	※2年次後期以降はグローバル専攻の専門基礎・発展科目も履修可					Thesis Writing	2	選	必修科目を含み18 単位以上 ※グローバル専攻の専門基礎・発展科目は16単位を上限として含むことができる	※グローバル専攻の専門基礎・発展科目は16単位を上限として含むことができる		